

あやめRepo

みんなで創る しあわせに暮らせるまち 長井

2016.1.15
vol.33発行／山形県長井市
問い合わせ／長井市総合政策課 tel.0238-87-0714
http://www.city.nagai.yamagata.jp

長井市シティコンセプト決定！

このキャッチコピーを様々なところで使い、
長井のブランドイメージを高めていきましょう！

天然水100%の子育てライフ ながい

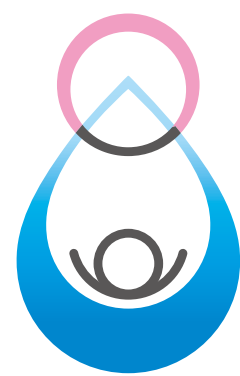
人のあたたかみ、おいしい水、まちに張り巡らされる水路、山景色を楽しめる百秋湖、舟運の栄えた歴史と文化を象徴する建造物など、長井市には魅力ある地域資源がたくさんあります。しかしながら現状は、まちの魅力をまだまだ外に発信できていません。長井市の魅力をさらに磨き上げ効果的にPRすることは、産業の連携や観光、人や物の交流を拡大させ、長井を活性化することに繋がります。そのために市民、民間事業者、行政が力を合わせ具体的なプロジェクトにより、長井市の活性化を目指すもの、それが「ながいシティプロモーション」です。



美しい景観も魅力のながい百秋湖



水のある風景を楽しみながら歩く

NAGAI
TENNENSUI
100%シンボルマーク
展開例◎シンボルマーク
ぜいたくな水での子育てと
親の愛情をイメージ

▲ポスター展開例



とんがりをつくる

シティコンセプトでは
様々な魅力のうち
一番武器になる部分を
とんがらせる
ことが大事。



シティコンセプトとは、長井の魅力要素がいろいろあるなかで何かを選び取り、それを「とんがり」に伸ばしていくことです。この「とんがり」には2つの役割があります。1つ目は長井以外の人が長井に注目するきっかけになること。2つ目は長井が今後力を注ぐべき方向性が明確になることで、さらにとんがりが強くなること。

長井市の大きな特徴は、何と言っても豊かな水資源です。しかし、文化や歴史、自然、食、暮らしと水を組み合わせてPRしている自治体は多く、長井市に興味を持ってもらうには弱いと考えました。そこで、命と暮らしを支える水を子育てとつなげることで、子育てを通して長井市での暮らしの魅力も伝えることができると考えました。水と子育てを「とんがり」として考えた場合のポイントは3つあります。

1 東日本大震災以降の水に対する関心の高まり

2 水を意識する大きなタイミングの1つは子育ての時期

3 長井の水は子育てや暮らしに最適

長井の 水道水

長井の水道水は、科学的な理由からみても子育てにぴったりの水です。それは「軟水」であること、さらに軟水の中でも特に硬度が低いことが大きな理由です。長井の水道水は朝日山系の山々によって自然にろ過された100%天然の地下水。これを地下40m以上の深井戸から取水して厳重に安全管理を行いながら市民の皆さんに提供しています。

◎軟水ってどんな水？

1L当たりの水の中に含まれるカルシウムとマグネシウムの量が概ね100mg未満のものを軟水と呼びます。日本の水の80%が軟水と言われており、日本人にはなじみのある水です。

◎軟水のおいしい

日本人が好む「旨み」や「香り」を良く引き出すため、おいしいご飯を炊いたり、良いお出汁をとったり香りのよいお茶を入れるのにとても適しています。

◎軟水が体にやさしい理由

内臓への負担が少なく赤ちゃんの体に負担をかけずに摂取できるので、ミルクを溶かす水や飲み水としてもとても安心です。また石けんの泡立ちや泡切れがよく、水あかなどが付きにくいのも軟水です。

全国の水道の平均的な硬度は50～60ほど。また、全国で商品として販売されている主要な天然水や軟水のミネラルウォーターの硬度は30～70前後ですが、長井の水の硬度は20程度です。これが水道から出る長井の水が市販の天然水以上においしくて、体にやさしい理由です。

図・長井の水と全国の主要なミネラルウォーター（天然水）商品の比較 (mg/100ml)

	産地	PH	硬度	Ca	K	Na	Mg	備考
長井の水道水	長井市	7.0	18	0.48	0.08	0.46	0.17	H26平山
天然水 A	北海道	7.4	63	1.5	0.3	1.1	0.62	
天然水 B	山形県	7.0	30	0.75	0.03	0.6	0.28	
天然水 C	兵庫県	7.2	32	0.65	0.08	2.95	0.37	飲料メーカーX
天然水 D	山梨県	7.0	33	0.85	0.1	1.25	0.29	飲料メーカーY

※Ca:カルシウム、K:カリウム、Na:ナトリウム、Mg:マグネシウム ※比較データは各商品HPなどより抜粋



2月1日(月)に超地域密着型の情報サイトを開設します。特派員の皆さんがブログを通じて投稿した情報が「おらんだちゃんねる」に反映され、それが「おらんだラジオ」で読み上げられます。おらんだちゃんねるは地域の人がつくる地域のサイトです。地域のイベントをはじめとするいろいろな情報を集めて市民の皆さんにお伝えしたり、まちネタを気軽に投稿できるようなサイトを目指しています。インターネットにつながる環境があれば、家の中でも外出先でも気軽に見られるので、いつでもどこでも長井の情報チェックできます。

http://oranda-ch.jp

特派員さんからの 情報をアップ。

地域ごとに色分けされて
いるから見やすい！
動画も見られます。

評判のお店を 発見したり

おいひそー♡
今日のお昼は
ここにひよう！

特派員紹介

おらんだちゃんねる コンセプト

- ①超地域密着型
- ②みんなが主役
- ③みんなが使える
- ④みんなの交流を促進
- ⑤クロスメディア(※2)の中核に

※2 複数のメディアを使って市民間の
相互作用を強化すること

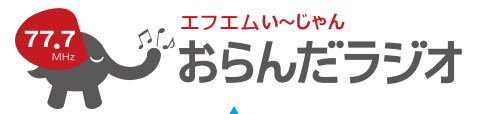
特派員さんを募集します!!

おらんだちゃんねるに投稿するには会員登録が必要です。市内のイベントやグルメなど、いろんな口コミ情報を投稿して地域を元気にする特派員さんを大募集します。

申し込み・お問い合わせはこちらまで

ながいシティプロモーション戦略会議(事務局:長井市総合政策課)
運営委託:日本・アルカディア・ネットワーク株式会社(tel.0238-84-5711)

おらんだちゃんねる 概念図



読み上げ



おらんだちゃんねる

特派員からの投稿



※画面はイメージです。

長井市を 動画で紹介

手づくり雑貨の
フリーマーケットがあるんだ！
これは行かなくちゃ！

おうちで
週末のお出かけ先
探しに

イベントは ここでチェック！

今週はどこに行くのかな♪

みんなが集まり
みんなが元気になる
長井人を楽しめる
草の根ホームページ
おらんだちゃんねる

シティ プロモーションとは

まちの魅力を磨き上げ、
まちそのものを地域の内外に
宣伝・売り込む活動。



冬の長井を楽しむツアー



ながいシティプロモーション戦略会議



ながいシティプロモーション専門部会

ながいシティプロモーションでは「長井らしさ」を確立し、地域のイメージを高めることで長井の交流・定住人口増加、長井の地場産品の流通拡大など、「選ばれる自治体」を目指しています。そのために昨年も様々な事業を展開し、外に向けて長井の魅力をPRしてきました。

- 東京事務所のある大田区で長井の特産品などの販売
- 長井の中学生が大田区梅屋敷商店街で長井の特産品を販売
- 冬の長井を楽しむツアーを開催し、首都圏からたくさんの人が参加
- 大田区池上本門寺に長井の雪を運び、雪灯り回廊まつりを開催 など

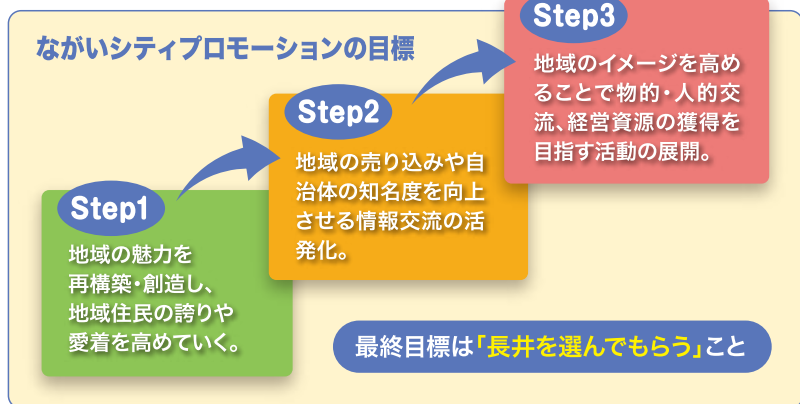
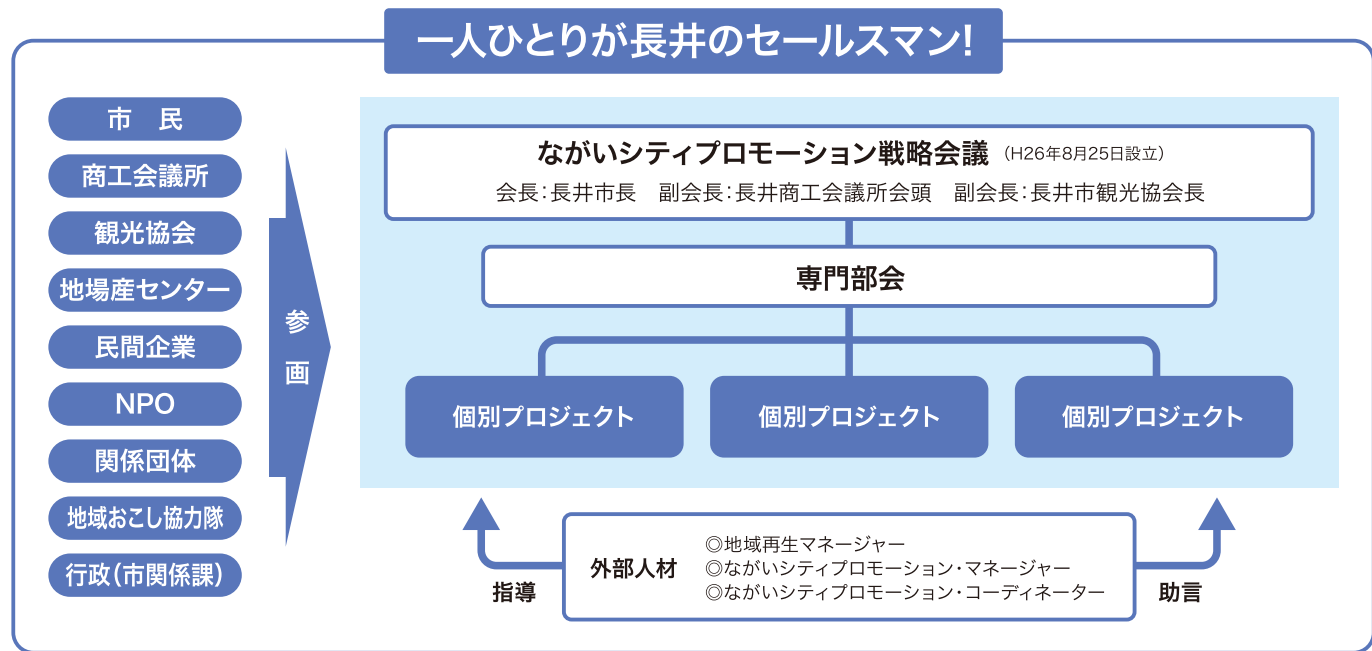
ながいシティプロモーションのカギは、長井に暮らす皆さんが地域の魅力を感じ、長井への誇りや愛着を高めていくことです。市民、民間事業者、行政が一体となってまち全体で具体的な事業を実施することで長井の地域イメージを確立していきます。



長井の特産品などの販売



大田区池上本門寺「雪灯り回廊まつり」



戦略会議においてシティコンセプトに基づく活動(プロジェクト)のアイデアを検討してきました。

→ 活動テーマ **ぜいたくな軟水での子育てや生活が輝く企画や商品・体験を増やす**

プロジェクト 体系

3つの 個別プロジェクト

長井市は江戸時代から最上川舟運で栄えた「山の港町」であり、豊かな水環境が育んだ生活と歴史文化に満ちたまちとして発展してきました。これからも「水が豊かなふるさと」を誇りにしながら地域への愛着を高め魅力あふれる都市のイメージを確立していくために、「水」に関する3つの個別プロジェクトを実施していきます。

水の価値再構築

新たに市民参加型のプロモーションサイト「おらんだちゃんねる」の運用を始め、地域情報の交流を活発化し、市民のまちに対する誇りや愛着を深めています。

また、市民目線で「水のまち」にふさわしい地域資源や水の活用方法を整理するとともに、情報発信を強化していきます。

◎実施事業：インナープロモーション※1の推進

水とつながる子育て支援

市内ものづくり企業や有名デザイナーなどの協力を得て、水を生かした魅力的な育児用品や育児情報を詰め込んだ商品の企画・開発を進め、長井らしい子育てスタイルを確立していきます。

また、他の子育て関連施策も充実させ、切れ目のない子育て支援を強化していきます。

◎実施事業：Baby Boxプロジェクトの推進
(詳しくは右面参照)

水源地域のツーリズム創出

長井ダム周辺の自然環境を生かした体験型ツーリズムとして、三淵渓谷ツアーの商品化と他の活動の強化により、遊びの場としての魅力を高めていきます。

また、企業の社会貢献事業や大学のフィールドワークなどの受け入れにより環境教育の場として活用していきます。

◎実施事業：三淵渓谷観光ツアーの推進

※1 市民が地域に魅力を感じ誇りや愛着を高めることで、市外への有効なPRにつながること。

長井らしい子育てスタイル〈Baby Boxプロジェクト〉



長井市では今年9月に策定した「長井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「教育・子育て」を戦略の柱としました。“子どもや子育て世代にとって魅力あるまちへ”をキャッチフレーズに、少子化や若年層の転出による人口減少の改善のため、総合戦略の基本目標の第1番目である「若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる」の実現を目指して、子育て支援や教育環境づくりに取り組んでいます。

そのひとつとして、長井市では、世界一しあわせな子育てができる国フィンランドに学び、これからの市を担っていく若者に「いずれ自分もこのまちで子どもを産み、育てたい」としてもらえよう、子育てとものづくり支援プロジェクトを開始します。

これは妊娠した女性に「Baby Box」を贈るプロジェクトです。Baby Boxは箱の中に生後12ヵ月までの赤ちゃんに必要な育児グッズが入った、いわば「子育てスターターキット」です。これはただの「必要なものが入った箱」ではありません。お母さんと赤ちゃんを支援することはも

ちろん、長井らしさを出した箱のデザインにしたり、箱の中に長井の企業の製品を入れることで、ものづくり企業支援にもつながります。

地域の企業が元気になり雇用が生まれる。若者が希望を持ち長井に定住し子育てをすることで、活性化につながる。出生数の減少を抑え、地域のものづくりにも応援できるプロジェクトです。

また、新米ママ・パパ、子どもを産み育てることに関わる全ての人への育児情報の提供も大切なことだと考えています。例えば病児保育についての情報や、待機児童についてなど、「こんなときはどこに相談すればいいの?」という不安な気持ちを少しでも減らして安心して子育てできるようにすることが重要です。

それらを一体化したプロジェクトがBaby Boxプロジェクトです。



Baby Box プロジェクトとは

Baby Boxプロジェクト 記者発表会

11月16日(月)にタスパークホテルにて内容市長、Baby Boxの発案者である地域おこし協力隊の佐藤亜紀さん(写真左)、WAO総合プロデューサー生駒芳子さん(写真右)がBaby Boxプロジェクトについての記者発表会を行いました。



長井市長
内谷 重治

WAO総合プロデューサー
生駒 芳子 さん

地域おこし協力隊
佐藤 亜紀 さん

長井市は、今年9月に策定した「長井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、基本方針において「長井市の魅力を高め、ひとの循環・交流を強くすること」を定め、「教育・子育て」を戦略の柱とし、「子どもや子育て世代にとって魅力あるまちへ」のキャッチフレーズを掲げました。

市民の皆さんへのアンケート調査では、現在の市の取り組みの中でも、特に教育や子育てに関する満足度が高いという結果になっています。それにさらに磨きをかけて、「教育・子育ては長井で」を思ってもらえるようなまちを目指します。いわば、このBaby Boxプロジェクトは【日本一幸せに子育てできるまち】へのシンボルであり、子育てをするママ・パパに対して子育てを応援するという決意でもあります。



Baby Boxはいわばウェルカムボックス。ようこそ！生まれてきてくれてありがとう！という気持ちや、歓迎されて生まれてきたことを表す未来へつながるものです。

わたしも息子を育てた経験から、働きながら子育てするママはとっても大変だと実感しています。子どものことも家族のことも仕事のことも大切です。子育ての要は「心」です。子育てという時間はかけがえのない、最大の喜びのひとつでもあります。もちろん大変なこともたくさんありますが、子育てに期待を高く持ってほしい。ぜひ楽しんで欲しい。困難なことがあればそれを乗り越えるかつてない新しい発明をして、より子育てを楽しむことにトライしてほしいと思います。

プロフィール◎生駒 芳子(いこま よしこ)
ファッション・ジャーナリスト。『VOGUE』『ELLE』での副編集長を経て、2004年より『マリ・クレール』日本版編集長に就任。2008年11月独立。日本の伝統工芸を世界発信するプロジェクト「工芸ルネッサンスWAO」の総合プロデューサーを務め、パリ、ニューヨーク、東京で、ファッションやデザイン、アートを切り口としたキュレーションで伝統工芸世界を紹介。クール・ジャパン審議会委員、公益財団法人三宅一生デザイン文化財団理事、JFW(東京ファッションウィーク)コミッティ委員など。

もとはフィンランドで始まったBaby Boxですが、長井の良さをたくさん詰め込んで妊婦さんがワクワクするようなものを作りたいと思っています。Baby Boxは祝福と歓迎のシンボルなのです。これをきっかけに切れ目のない子育て支援につながり、「子育てするなら長井だよ」という取り組みになるように頑張っていきたいと思います。

Baby Boxはただの出産祝品とはちがって、子どもが健やかに育つことができるような基本的な育児用品と同時に、Boxを受け取った親が安心して子育てができるような社会性のある品も検討していきます。また、近頃、様々な地域でも注目が集まっていますが、Baby Boxを取り入れた子育て支援プロジェクトは日本初と言ってよいと思います。

プロフィール◎佐藤 亜紀(さとう あき)
神奈川県川崎市出身。平成27年4月に長井市に移住。地域おこし協力隊として子育て支援に取り組み、ひとり親コミュニティあんにゅ会代表、山形県子どもの貧困対策・ひとり親家庭自立促進推進委員も務める。一男一女の母。
【BabyBoxProject】HP <http://www.babyproject.co/>
【あんにゅ会】HP <http://anjyukai.com/>